

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 土木部

所属名 道路建設課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
道路改良(足羽川ダム関連)事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	平成29年度	令和10年度	125,000	—	68,750	56,250		縮減
原子力災害制圧道路等整備事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	平成24年度	令和13年度	412,000	—		412,000		継続
㊦原子力災害避難道路等整備事業	16 防災・治安先進県ふくいの実現	政策的経費	令和7年度	令和16年度	215,000	—	88,000	127,000		拡充
					752,000		156,750	595,250		

	土木部	道路建設課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる (想像力)			経費区分	政策的経費	
10 交流を広げる基盤整備			事業開始年度	平成29年度	
道路改良 (足羽川ダム関連) 事業			事業終了年度	令和10年度	
事業目的	足羽川ダム建設による影響、急速に進む少子化や人口の流出など、池田町の人口減少に係る諸課題に対し、定住促進対策を主とする地域振興策を実施する。				
事業内容	安全で円滑な道路交通の確保や、より強靱な緊急輸送道路の確保・丹南地域の東西交流・連携の活性化				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	125,000	—	68,750	56,250	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	供用箇所数 (箇所)	2	—	令和10年度
	活動指標	事業進捗 (%)	90.06%	90.02%	令和7年度
事業評価	成果指標として、事業計画に基づき、令和10年度までの供用開始を目標とする。 令和7年度 of 取組みとして、用地測量、用地交渉、道路整備を行った。 目標達成のため引き続き進捗を図っていく。				
区分	縮減				

	土木部	道路建設課	事業年度	令和 8年度	
4 住みやすさを高める（地域力）			経費区分	政策的経費	
16 防災・治安先進県ふくいの実現			事業開始年度	平成24年度	
	原子力災害制圧道路等整備事業		事業終了年度	令和13年度	
事業目的	福島第一原発での事故を踏まえた原発事故発生時の迅速な初動・事故制圧等を行う。				
事業内容	幹線道路から原発までの道路の多重化や現道の防災機能の強化 （主）舞鶴野原港高浜線 （一）赤礁崎公園線				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	412,000	—		412,000	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	供用箇所数（箇所）	1	—	令和13年度
	活動指標	事業進捗（%）	95.74%	95.74%	令和7年度
事業評価	成果指標として、道路整備プログラムにおける期間内完成を目標とする。 令和7年度の取組みとして、残る未整備区間の整備を行った。 目標達成のため引き続き進捗を図っていく。				
区分	継続				

		土木部	道路建設課	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
16 防災・治安先進県ふくいの実現				事業開始年度	令和7年度
㊦ 原子力災害避難道路等整備事業				事業終了年度	令和16年度
事業目的	「福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議」において、将来像の実現に向けた道路の整備促進の事業例として記載された4事業の進捗を図る。				
事業内容	避難道路の多重化・強靱化等、原子力防災や地域振興に資する道路の整備 （主）小浜綾部線 （一）岡田深谷線				
予算・決算額 （単位：千円）	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	215,000	—	88,000	127,000	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	調査・設計箇所（箇所）	4	—	令和9年度
	活動指標	事業進捗（％）	2.89%	2.89%	令和7年度
事業評価	成果指標として、令和9年度までに調査・設計を4箇所行うことを目標とする。 令和7年度の取組みとして、3箇所において調査・設計に着手した。 目標達成のため引き続き進捗を図っていく。				
区分	拡充				